

日本小文典

上卷

T 1A1

11

N 30

明治九年八月上梓

中根淑著

# 日本小文典

迷花書室藏

叙

余嚮ニ日本文典ヲ著シ、吾ガ國ノ文法ヲ論ズ、中ニ就キテ疑難アル者ハ、後フテ之ヲ論辯ス、其ノ説未必シモ疵瑕無クンバアラズト雖、幸ニ時人ノ棄ツル所ト為ラズ、以世ニ行ハル、一ヲ得、然レ共書中議論甚多ク、之ニ加フルニ、例文、纂古書ニ由ルヲ以、初學ノ徒、或ハ其ノ解シ易カラザルヲ憂フル者アリ、是ヲ以、今特ニ其ノ煩ナル者ヲ棄テ、其ノ簡ナル者ヲ収メ、且今時郷校用フル所ノ書類ニ就キテ、其ノ例文ヲ採リ、務メテ其ノ義

ヲシテ、會得シ易カラシム、書成ル、分チテ二卷ト  
ナシ、之ヲ名ケテ日本小文典ト云フ、小學童生先  
此ノ書ニ由リ、文法ノ大綱ヲ領シ、而後其ノ細目  
ヲ求メバ、豈、解シ難キノ文法アラシヤ、

明治九年七月

中根淑識ス

日本小文典卷之上

中根淑著ス

○言葉ハ、己ノ思フ事ヲ顯ス為ノ者ニシテ、色々  
ナル聲ヲ、合ハセテ造リタル者ナリ、此ノ聲ノ目  
印ニ用フル者ヲ字ト云ヒ、其ノ字ヲ連子テ、話シ  
ノ如ク書キタル者ヲ文ト云フ、元來言葉ニハ、夫  
々極リタル順アリテ、話シトナルヲ故、其ノ順ヲ  
違ヘズニ、字ニテ書クヲ文法ト云フ、故ニ此ノ文  
法ハ、己ノ存シ寄りニテ、妄リニ定ムベキニ非ズ、

何レモ昔ヨリ用ヒ來レル言葉ト昔ノ學者ノ記  
シ置カレタル所トラ以正シトスルナレバ人  
々之ヲ誤ラザル為ニ文典ヲ學ブベキナリ  
文法ヲ別チテ四種トナス則文字論言語論文章  
論音調論是ナリ文字論ハ文字ノ譯ヲ論シ言語  
論ハ言葉ノ別チヲ論シ文章論ハ文章ノ締メ括  
リヲ論シ音調論ハ聲ノ調子ヲ論ス

○文字論

伊呂波

○日本ノ音凡四十七アリ故ニ其ノ字数亦四十

七アリ即イロハニホハトチリヌルヲソカヨタ  
レソツ子ナラムウサノオクヤマケフコエテア  
サキエノミシヒヒセス是ナリ此ノ形ノ字ヲ  
片假名ト云フ又いろはにほとちりぬるをわ  
かよたれろつねならむうゐのれくやまけふこ  
にてあさきゆめみしゑひもせすノ如キ形ノ字  
アリ之ヲ平假名ト云フ又いろはまふゑぢり  
ろはれにゐるときそはれそはれそはれそはれ  
ろはれにゐるときそはれそはれそはれそはれ  
キ形ノ字アリ之ヲ中假名ト云フ以上何レモ文

字ノ形ニ違ヒアルノミニテ、讀ミ聲ニ於キテハ、  
少モ變リタルヲナキナリ、但シ之ヲ伊呂波ト云  
フ者ハ、其ノ最初ノ三字ヲ採リテ、名ケタルナリ、  
伊呂波ノ外、別ニ『ン』ノ字アリ、昔ハ唯『ム』ノ字ヲ用  
ヒタリシガ、後ニハ『ム』ト『ン』ト、自分ル、トトナリ  
タリ、之ヲ變音ト云フ、此ノ字平假名中假名共ニ  
『ん』ヲ用ス、  
『ッ』ハ時ニ由リテ、聲ノ半分ヲ用フルヲアリ、勝  
テ、ヲ勝『ッ』テト云フガ如シ、是モ亦變音トス、  
片假名ノ文字ヲ畧シ、二字ヲ合ハセテ、一鉢トシ

タル者アリ、即トキヲ『キ』ト『モ』ヲ『ヒ』ト『コ』トヲ『フ』ト『シ』テ  
ヲメト合ハセタルガ如シ、

五十音

○伊呂波四十七字ス、聲ノ都合ニ由リテ、横縦ニ  
並ベタル者ヲ、五十音ト云フ、其ノ中『イウエノ三  
字』ヲ二處ニ用フル故、合ハセテ五十字トナルナ  
リ、其ノ縦ノ行ヲ縦行ト云ヒ、横ノ行ヲ横行ト云  
フ、即左ノ如シ、

五十音ノ圖

阿 <sup>ア</sup> 縦行	加 <sup>カ</sup> 縦行	佐 <sup>サ</sup> 縦行	多 <sup>タ</sup> 縦行	奈 <sup>ナ</sup> 縦行	波 <sup>ハ</sup> 縦行	麻 <sup>マ</sup> 縦行	也 <sup>ヤ</sup> 縦行
ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ
イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	イ
ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ユ
エ	ケ	セ	テ	子	ヘ	メ	エ
オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ヨ
阿 <sup>ア</sup> 横行	伊 <sup>イ</sup> 横行	宇 <sup>ウ</sup> 横行	衣 <sup>エ</sup> 横行	於 <sup>オ</sup> 横行			

良 <sup>ラ</sup> 縦行	和 <sup>ワ</sup> 縦行
ラ	ワ
リ	ヰ
ル	ウ
レ	エ
ロ	ヲ

子母音

○阿縦行<sup>ア</sup>イ<sup>イ</sup>ウ<sup>ウ</sup>エ<sup>エ</sup>オ<sup>オ</sup>ノ五ヲ、母音ト云ヒ、其ノ餘ヲ、子音ト云フ、其ノ故ハ、<sup>ア</sup>イ<sup>イ</sup>ウ<sup>ウ</sup>エ<sup>エ</sup>オ<sup>オ</sup>ノ五ハ、雜リナキ音ニテ、初<sup>初</sup>ノ<sup>ア</sup>ト呼ベバ、何時迄引キテモ、<sup>ア</sup>ノ聲殘ルナリ、<sup>イ</sup>ウ<sup>ウ</sup>エ<sup>エ</sup>オ<sup>オ</sup>モ皆斯クノ如シ、其ノ餘ノ音ハ、盡ク雜リタル音ナリ、比ヘバ阿横行ノ<sup>カ</sup>サ<sup>サ</sup>ナ<sup>ナ</sup>ハ<sup>ハ</sup>マ<sup>マ</sup>ヤ<sup>ヤ</sup>ラ<sup>ラ</sup>ワ<sup>ワ</sup>ヲ、長ク引キテ呼ベバ、初<sup>初</sup>ノ<sup>ニ</sup>

出シタル音ハ消エテ、唯アノ音ノミ殘ルナリ、伊  
横行ナレバ、イノ音ノミ殘リ、宇横行ナレバ、ウノ  
音ノミ殘ル、衣於ノ横行モ、皆斯クノ如シ、故ニ子  
音ハ、母音ニ由リテ生ズル者ト知ルベシ、  
右ノ内、ヤ、ユ、ヨ、ト、ワ、ヰ、エ、ヲノ七音ハ、母音ヲ二合  
ハセタル音ナリ、即イアヲ誥メテヤ、イウヲ誥メ  
テユ、イオヲ誥メテヨ、ウアヲ誥メテワ、ウイヲ誥  
メテヰ、ウエヲ誥メテエ、ウオヲ誥メテヲトナル  
ナリ、

前ニ舉ゲタル、五ノ母音ノ外、ヤ、ユ、ヨ、及ヒワノ四

音ハ、時アリテ、母音トナルヲアリ、即シヤ、チ、ユ、リ  
ヨ、ワ、等ノ如シ、尤是ハ漢字ノ音カ、又ハ西洋ヨ  
リ来リタル言葉ナラデハ、無キヲナリ、

濁音

○加佐多波縦行ノ二十音ハ、濁リタル音ニ讀ム  
トアリ、其ノ時ハ、右ノ肩ニ二ノ小キ點ヲ添ヘテ  
印トス、即ガギダゲゴザジズゼゾダヂヅデドバ  
ビブベボ等ノ如シ、

半濁音

○波縦行ノ五音ハ、時アリテ唇ヲ彈ク様ニ發ス

ル<sup>一</sup>アリ、是ヲ半濁音ト云フ、其ノ時ハ、右ノ肩ニ  
小キ圈ヲ添ヘテ印トス、即<sup>レ</sup>『<sup>レ</sup>パ<sup>レ</sup>ビ<sup>レ</sup>ア<sup>レ</sup>ベ<sup>レ</sup>ボ<sup>レ</sup>等<sup>レ</sup>ノ如シ、

假名遣<sup>ヒ</sup>

○古キ昔言葉ヲ文字ニ移スニハ、假名ノ遣ヒ方、  
明ニ分チアリシ<sup>一</sup>ナリ、迨ヒ々々年ヲ経ルニ從  
ヒテ、言葉ハ訛<sup>レ</sup>リモ出デ、便利ニモ就ク故時ニ由  
リテハ、水ノ音ト違ヒテ響ク<sup>一</sup>ナリ、比ヘバ、人ハ  
萬物ノ靈ナリト云フ文ノハハ、本ノ音ヲ失ヒテ、  
『<sup>レ</sup>ロ<sup>レ</sup>ト<sup>レ</sup>響ク<sup>レ</sup>ガ如シ、然レ共文字ニ書クニハ、昔ヨリ  
ノ法ニ從ヒテ、必<sup>レ</sup>ハト書クベキ<sup>一</sup>ナリ、此ノ類言

葉中ニ甚多キ故、之ヲ違ヘザル様ニ、氣ヲ付ケテ  
覺ユベシ、今其ノ一二ヲ擧ゲテ、之ヲ示スベシ、

イ<sup>レ</sup>丹<sup>レ</sup>ヒ<sup>レ</sup>ノ音、兎角誤リ易シ、比ヘバ『<sup>レ</sup>擢<sup>レ</sup>ヲカヒ、鳥居

ヲトリイト書クガ如シ、

ハ<sup>レ</sup>ワ<sup>レ</sup>ノ音亦然リ、比ヘバ『<sup>レ</sup>響<sup>レ</sup>ヲクツハ、瓦<sup>レ</sup>ヲカソラ

ト書クガ如シ、

ホ<sup>レ</sup>ヲオ<sup>レ</sup>ノ音亦然リ、比ヘバ『<sup>レ</sup>顔<sup>レ</sup>ヲカラ、鴛鴦<sup>レ</sup>ヲオシ、

帶<sup>レ</sup>ヲタビト書クガ如シ、

ハ<sup>レ</sup>エ<sup>レ</sup>エ<sup>レ</sup>ノ音、亦混シ易シ、比ヘバ『<sup>レ</sup>家<sup>レ</sup>ヲイエ、枝<sup>レ</sup>ヲエ

ガ、繪<sup>レ</sup>ノ具ヲエノ具ト書クガ如シ、



ハシノ音亦然リ、比ヘバ紅葉ヲモミジ、雉ヲキダ

ト書クガ如シ、

ツズノ音亦然リ、比ヘバ鶉ヲウスラ、鼠ヲ子ヅミ

ト書クガ如シ、

右ノ外、働キニ用フル言葉ノ終リハ、充氣ヲ付ケ

テ知ルベキナリ、比ヘバ笑フヲワウト書キ、

消エヲキハト書クガ如シ、

漢語ハ、漢土ノ文字ヲ音讀ミニシテ、日本ノ言葉

ト同様ニ用フル者ナルガ、其ノ音モ、假名ニテ綴

ルハ、皆極リアルナリ、比ヘバ學校ノ校ハ、コ

ウト書ク音ニ非ズ、文字ノ字ハ、デト書ク音ニ非

ザルガ如シ、是亦心ヲ用フベキナリ、

漢字ノ用ニ

○日本ノ言葉ヲ、假名ニテ綴ルハ、或ハ唯一ノ

言葉ニテモ幾字モ用ヒザレバ、書キ載スルナ能

ハザル者アリ、然ルニ漢土ノ文字入り来リタル

ハ、神ト云フ音ノ字ニハ、其ノ意味ニ由リテ、日本

ノカミト云フ言葉ヲ付ケ、人ト云フ音ノ字ニハ、

ヒト、云フ言葉ヲ付ケ、其ノ他総ベテノ漢字ニ、

皆斯クノ如ク言葉ヲ付ケテ、遂ニ文字ノ形ヲ目

當テニ、之ヲ訓讀シテ、一々假名ヲ用ヒザル習ハ  
セト為リタリ、是ハ數多ノ假名ヲ用フルヨリ、餘  
程便利ナル所アルヲ以ナリ、然レ共言葉ノ都合  
ニ由リテ、間ニ假名ヲ加ヘザレバ、其ノ意味充分  
ニ通ゼザル故、遂ニ兩ナガラ雜ヘ用フルトナ  
リタリ、

○言語論

名詞

○**名詞**ハ、物ヤ事ノ名目ニシテ、文章ノ中ニテ、常  
ニ本トナル者ナリ、即**天・地・日・月・海・山・人・畜・草・木・鳥**

虫ヨリ、善・惡・貧・富・賢・愚・喜・怒ニ至ル迄、凡名目ヲ立  
テタル者ハ、皆之ヲ名詞ト云フ、其ノ中三種ノ差  
別アリ、一ヲ普通名詞ト云ヒ、一ヲ固有名詞ト云  
ヒ、一ヲ無形名詞ト云フ、

○**普通名詞**ハ、物ノ一類ニ就キテ付ケタル名目

ナリ、此ハ**草**ト云ヒ、**木**ト云ヒ、**鳥**ト云ヒ、**虫**ト云  
ヒ、**何レノ草木ニモ、何レノ鳥虫ニモ、通用スル**  
**名目**ニテ、普通名詞ナリ、是ヨリ一段小分ケシ  
テ、**菊**ト云ヒ、**萩**ト云ヒ、**松**ト云ヒ、**梅**ト云ヒ、**鶴**ト云ヒ、**雁**ト云  
ヒ、**蛙**ト云フモ、是又何レノ**菊・萩・松・梅・鶴・雁・蛇・蛙**ニモ、

固有名词

通用スル名目ナレハ、又普通名詞トスルナリ。

○固有名词ハ、同類中ノ一物ニ限リテ付ケタル名目ナリ、比ハ、巴國ニ就キテ云ハバ、日本支那英吉利ノ類、日本内ノ國ニ就キテ云ハバ、山城大和河内ノ類、府縣ニ就キテ云ハバ、東京府神奈川縣ノ類、山川ニ就キテ云ハバ、富士山利根川ノ類、其ノ外人ニ就キテ云ハバ、義經辨慶ノ類、松ニ就キテ云ハバ、唐崎松ノ類、劍ニ就キテ云ハバ、草薙劍ノ類ノ如ク、何レモ唯其ノ一物ニ付ケタル名目ニシテ、同類中ニテモ、外ニ通用セザル者ナレバ、

無形名詞

数

之ヲ固有名词ト云フナリ。

○無形名詞ハ、仕業ヤ理窟ノ上ニテ、其ノ名目アレ共、外ノ品物ノ様ニ、形ヲ持タヌ者ヲ云フ、即春夏秋冬、東西南北、及ビ信義親愛ノ類ヲ云フ。

○前ニ掲ゲタル、三種ノ名詞ニ、何レモ数ト云フアリ、其ノ数ニ又二ノ差別アリ、一ヲ単数ト云フ、一ヲ複数ト云フ、

單数トハ、幾箇アル者ニテモ、唯其ノ内ノ一ヲ顯スヲ云フ、複数トハ、二ヨリ以上ノ物ヲ、一語ニ合ハセテ顯スヲ云フ、日本ニテハ、是ハ單數、是ハ複

数ト、別ニ文字ヲ分ツハ無ケレ共、前後ノ文章ノ様子ヤ、別ニ言葉ヲ添フルヲ探ニテ、其ノ複数ナルヲ顕スナリ、比ヘバ地球ノ表面ニ縦横ノ線アリト云フ文ノ線ハ、上ニ縦横ト云フ言葉アルヲ以、複数ナルヲ明ナリ、經線ハ皆南北ノ極ヨリ引キ出シタル圓ヲ以ト云フ文ノ經線ハ、下ニ皆ト云フ言葉アルヲ以、亦複数ナルヲ明ナリ、此ノ兒等ハ學校ニ行クヲ樂ミト思ヘリヤト云フ文ノ兒ハ、別ニ等ト云フ言葉ヲ添ヘタルニテ、是亦明ニ複数タルヲ知ルナリ、其ノ外、山々

性

川々人々ノ如ク、重子タル言葉ニテ、複数ヲ顯ス  
トモアルナリ、  
○名詞ノ中、人ニ就キタル言葉ニハ、性ト云フアリ、其ノ性ニ男性女性ノニアリ、  
○男性トハ、天子親王ヨリ、殿ト云ヒ、息ト云ヒ、夫ト云ヒ、婿ト云ヒ、下男ト云フ如ク、總ベテ男ニ就キタル言葉ヲ云フ、  
○女性トハ、皇后皇女ヨリ、奥ト云ヒ、娘ト云ヒ、妻ト云ヒ、嫁ト云ヒ、下女ト云フ如ク、總ベテ女ニ就キタル言葉ヲ云フ、

動詞狀  
名詞

○動詞ニ作リタル言葉ヲ、其ノ儘名詞ニ用フル  
アリ、之ヲ動詞狀ノ名詞ト云フ、比へバ讀ミト  
云フモ、書キト云フモ、富ミト云フモ、本ハ動詞ナ  
レ共讀ミ書キノ外ハ算術ヲ學ブベシト云フ文  
ノ讀ミ書キ、及ビ家業ヲ勵メハ富ミヲ致ス、ト云  
フ文ノ富ミ杯ハ、皆名詞トシテ用ヒタルナリ、  
○異體ノ言葉ヲ以、稀ニ名詞トスルアリ、即再  
歸リ來ルベキカ又其ノ儘ニ飛ビ去ルカト云フ  
文ノ儘ト云フ言葉、及ビ彼ノ子ハ彼ノ小女ノ為  
ニ親切ナリヤト云フ文ノ為ト云フ言葉ノ如キ

異體ノ  
名詞

合成名  
詞

是ナリ、是等ハ何處ヘ用ヒテモ、必名詞ト云フ譯  
ニハアラ子共、前ニ掲ゲタル文ノ如ク、用ヒタ  
ルキハ、必名詞トナスベキナリ、  
○種々ノ言葉ヲ合ハセテ、一ノ名詞ト為シタル  
者ヲ、合成名詞ト云フ、比へバ手習ヒト云フハ手  
ト云フ言葉ト、習ヒト云フ言葉トヲ合ハセテ、一  
ノ言葉トナシタル者、綿入レト云フハ、綿ト云フ  
言葉ト、入レト云フ言葉トヲ合ハセテ、一ノ言葉  
トナシタル者、其ノ外、書名ノ小學讀本、地理初歩、  
地名ノ磨針峠、親知ラズ、器械ノ顕微鏡、蒸氣車ノ

類モ、皆種々ノ言葉ヲ合ハセタル者ナレ共、其ノ物其ノ處ノ名トナス上ハ、引キ括リテ、一ノ名詞トスルナリ、又熟語ノ運動今年養生ノ類モ、此ノ例ニ從フテ、別ニ其ノ言葉ヲ分タズ、亦一ノ名詞ト見做スベキナリ、

代名詞

○代名詞ハ、人又ハ物事ノ名ノ代リニ用フル者ニシテ、自分ノ名ノ代リニ吾ト云ヒ、相手ノ名ノ代リニ汝ト云ヒ、他人ノ名ノ代リニ彼ト云ヒ、事ヤ物ヲ指シテ、是ト云ヒ、其ト云フ類ナリ、比ヘバ

神武天皇ノ吾將ニ東征シテ都ヲ中州ニ定メト宣フ中ハ、吾ト云フハ、神武天皇ガ、自御名ノ代リニ用ニ給フ者、又馬子病ノ為ニ佛ニ禱ラントテ請フ天皇乃勅シテ曰ハク汝獨是ヲ為コト云フ文ハ、汝ト云フハ、敏達天皇ガ、相手ノ馬子ノ名ノ代リニ用ヒラレ、是ト云フハ、前ノ佛ニ禱ラント云フ事柄ノ代リニ用ヒラレタル如キノ類ナリ、此ノ代名詞ト云フ者ハ、語シノ上ニテモ、文章ノ上ニテモ、誠ニ便利ナル者ナリ、今其ノ種類ヲ分チテ三種トス、則人代名詞普通代名詞疑問代名

詞等トリ

人代名詞

人代名詞ハ、總ベテ人ノ名ノ代リニ用フル者  
ヲ云フ、其ノ中ニ二ノ差別アリ、一ヲ真称代名詞  
ト云ヒ、一ヲ假称代名詞ト云フ、

真称代名詞

真称代名詞ハ、言葉ヲ作りタル初メヨリ、真ニ  
人ノ名ノ代リトシテ、持ヘタル者ヲ云フ、即チ汝  
彼等ノ類ナリ

天子ガ自朕ト宣フモ、下々ヨリ天子ヲ陛下ト呼  
フモ、又ハ我々が相互ニ拙者ト称シ、足下ト呼ブ  
類モ、初メヨリ代名詞ニ作りタル言葉ナレバ、亦

假称代名詞

真称代名詞トスルナリ

假称代名詞ハ、其ノ言葉ヲ造リタル初メ、代名

詞ニ用ヒタルニハ非ザリシカ共、年ヲ経ルニ從

ヒテ、代名詞ニモ假リ用フル様ニナリタル者ヲ

云フ、即僕ト云フハ、奴僕ノナナルヲ、假リテ吾ノ

場所ニモ用ヒ、君ト云フハ、君主ノナナルヲ、假リ

テ汝ノ場所ニモ用フル類ナリ、其ノ外、臣ト云ヒ、

妾ト云ヒ、私ト云ヒ、那方ト云フモ、皆此ノ例ト知

ルベシ

○人代名詞ニハ、必三ノ所有スル者アリ、則人稱

ト数ト性トノ三ナリ、

○人称ニ又三ノ別チアリ、第一一人称、第二二人称、第三三人称、

一人称トハ、自分ノ名ノ代リニ用フル者ヲ云フ、  
 二人称トハ、自分ノ相手ノ名ノ代リニ用フル者  
 ヲ云フ、三人称トハ、自分ト相手ノ外ナル人ノ名  
 ノ代リニ用フル者ヲ云フ、即我ハ馬ニ乗ルヲ  
 好メリト云フ文ノ我ハ、一人称、汝ハ馬ニ乗ルヲ  
 好ムカト云フ文ノ汝ハ、二人称、彼ノ如ク疾ク  
 乗ルヲ好マズト云フ文ノ彼ハ、三人称ナリ、此

ノ外ノ人代名詞モ、皆此ノ例ナリ、

是其ヲ人代名詞トシテ遣フハ、一人称ノ是ヲ、時

トシテハ二人称ニモ、三人称ニモ用ヒ、二人称ノ

其ヲ三人称ニモ用フ、即是ハ何物ゾ、是ニ尋ヌベ

シ、其ニ問フベシ、等ノ如シ、

○人代名詞ノ数モ、名詞ノ如ク単複ノ差別アレ

共、大抵ハ等供達等ノ言葉ヲ添ヘテ、複数ヲ顯ス

ヲニテ、前後ノ文章ノ様子ニテ顯スヲハ、至リテ

稀ナリ、

○人代名詞ノ性ハ、男性・女性・通性ノ三ニ分ル、是



ハ、真稱・假稱ニ拘ラズ、男ニノミ用フル僕ノ如キ  
 ハ、男性トシ、女ニノミ用フル妾ノ如キハ、女性ト  
 シ、男ニモ女ニモ通シテ用フル余・汝・是・其ノ如キ  
 ハ、通性トス、

人稱及ビ性ノ圖

稱	一 人		男性	女性	通性
	普	假			
		僕 <small>ボク</small>		妾 <small>メカ</small>	余 <small>ワタシ</small> 余 <small>ソノ</small> 已 <small>オレ</small>
		妾 <small>メカ</small>			私 <small>ワタシ</small>
					是 <small>コレ</small> 是 <small>コレ</small>

稱	二 人		三 人	人	真足下
	普	假		普	
					汝 <small>ノミ</small> 汝 <small>ミタ</small>
					君 <small>キミ</small> 那 <small>ソノ</small> 方 <small>カタ</small>
					是 <small>コレ</small> 是 <small>コレ</small> 其 <small>ソノ</small> 其 <small>ソノ</small>
					是 <small>コレ</small> 是 <small>コレ</small> 其 <small>ソノ</small> 其 <small>ソノ</small>

普通代名詞

○普通代名詞ハ、ハ・コ・ソレ・ソノ・カ・カレ・ア・アレ・等  
 ナリ、是ハ人ニモ物ニモ、又ハ事ニモ、通シテ代ヘ  
 用フル者ナルガ故、普通代名詞ト云フナリ、是ヲ

物事ノ代リニ用フルハ、即是ハ金其ハ銀他ハ鉛  
及ビ虚言ノ惡キ事ハ屢之ヲ聞ケリ等ノ如シ、  
普通代名詞ヲ事物ニ用フルルハ、別ニ人稱ヤ性  
ノ如キ差別ハナケレ共、唯數ノミアルナリ、尤是  
ハ名詞ノ數ノ如ク、前後ノ文章カ、又ハ外ニ等ノ  
字杯ヲ添フルニテ、之ヲ頭スナリ、即、  
鏡、至ヲ鳥  
羽ニ迎ヘテ、是ヲ温明殿ニ安ンズト云フ文ノ是  
ハ、上ニ鏡ト至トノニアルヲ以、複數タルヲ知  
ルナリ

○是、其、彼ニ後詞ノ、ヲ添ヘテ、是ノ、其ノ、彼ノ、ト

名詞狀ノ代名

遣フモ、上ヲ指スモアリ、又ハ下ヲ指スモア  
ルナリ、即、此ノ鳥ハ其ノ性水上ニ泳グヲ好メ  
リト云フ文ノ、此ノ其ノハ、何レモ鳥ヲ指ス言葉  
ナレ共、一ハ上ヨリ下ヲ指シ、一ハ下ヨリ上ヲ指  
スノ違ヒアルナリ、此ノ上ヲ指ス者ハ、全ク代名  
詞ナレ共、下ヲ指ス者ハ、形容詞ノ形アルヲ以、代  
名詞狀ノ形容詞トスルナリ、

○代名詞中ニ、一種名詞狀ノ代名詞ト云フアリ、  
即前後ニ攀グル事物ノ代リニ、右ノ通り、左ノ通  
リ、杯ト用フル類ナリ、是ハ元來名詞ナレ共、姑假

疑問代名詞

合成代名詞

リテ代名詞トスルナリ、

○疑問代名詞ハ、人ニテモ、事物ニテモ、明ニ定メテ言ヒ難キ者ニ用フル言葉ナリ、即狼來レリ誰カ出デ、救ヒ給ヘ又此ノ小兒ハ何ノ書ヲ讀メルヤ等ノ文ハ、誰何ノ如キ類ヲ云フナリ、

○代名詞中此方其方那方杯ト云フ類ハ、一牀此ノ方其ノ方、那ノ方ト云フニテ、他ノ言葉ヲ付ケ合ハセタル者ナレ共、一ノ言葉トシテ用フル上ハ、則合成代名詞トスルナリ、

形容詞

語尾ニキヲ含ミタル形容詞

○形容詞ハ、大抵名詞ノ上又ハ下ニ在ルル、或ハ外ノ言葉ヲ隔テ、其ノ物事ノ大小長短輕重善惡杯ノ有リ様ヲ、精ク顯ス者ナリ、又時ニ由リテハ、代名詞ヲ形容スルコトモアリ、即賢キ人聲ヲ動ト揚グル余慨然トシテ等ノ如シ、

○形容詞ノ状ニ、三ノ種類アリ、第一語尾ニキヲ含ミタル者、第二外ノ詞ヲ履ム者、第三形ヲ變ゼザル者、

○第一語尾ニキヲ含ミタル者トハ、即善キ小兒惡キ小兒、淺キ川、深キ川、樂キ事、美キ花等ノ如シ、

外ノ詞  
ヲ履ハ  
形容詞

第二外ノ詞ヲ履ム者トハ、其ノ言葉ノ下ニ、助  
動詞ノ、タリタルナル、又ハ後詞ノ、ヲ添ヘテ意  
味ヲ顯ス者ナリ、  
タリタルヲ添フル者トハ、即人心騷然タリ、渺茫  
タル沙漠、古ノキタル家等ノ類ナリ、  
ナルヲ添フル者トハ、愚ナル人、暖ナル日、柔和ナ  
ル馬等ノ類ナリ、  
ノヲ添フル者トハ、廣漠ノ荒原、夢ノ世等ノ類ナ  
リ、  
者トアリ、比ヘバ、形容詞トナル者トナラザル  
武藏ノ荒原、世ト云フハ、武藏モ君モ名詞  
ニシテ、形容詞ト非ズ、此ノ別ナリ、

熟語

○熟語ハ、前ニモ度々擧ゲタル如ク、二三ノ言葉  
ヲ合ハセタル者ナリ、比ヘバ、カタチ形ト云フ言葉ト作  
ルト云フ言葉トヲ合ハセテ、カタチ形ルト云フ言葉ト  
ナシタル類ナリ、其ノ外無理・非道ノ類モ、音ニテ  
讀ム上ハ、熟シテ一ノ言葉ト見做スベシ、

○文章論

起語結語

○文章ハ、已ノ思フ所言フ所ヲ記ス者ニシテ、二  
三ノ言葉ヨリ、數萬ノ言葉ヲ合ハセタル者迄、總

ベテ之ヲ文章ト云フナリ、此ノ文章ニ、起語結語  
ト云フヲアリ、起語トハ言ヒ起ス言葉、結語トハ  
其ヲ止ムル言葉ナリ、比へバ、人ハ過ダト云フ文  
ノ、人ハト云フハ、起ス言葉、過ダト云フハ、其ヲ止  
ムル言葉ナリ、

此ノ起語ト結語トニ、自然極リタル法アリテ、其  
ノ言ヒ起シ方ニ由リ、結ビ方モ從フテ異ルナリ、  
比へバ、人ハト起セバ、過ダト止ム、人ヤト起セバ、  
過ダルト止ムルガ如シ、猶下ノ章ニ、其ノ謂ヲ説  
カン、

リ、即之ヲ一統ス、一時ニ來ル等ノ如シ、

數ハ、何レモ形容詞ナレ共、一ガ一、二ガ二ト

云フ如ク、唯勘定ノ目錄ニノミ、攀グル類ハ、品物

ノ數ヲ形容スルニ非ザレバ、皆名詞トスルナリ、

○不定數トハ、多キ人、寡キ机、數多ノ小兒、僅ノ書

物ノ如ク、物ノ多少ニ拘ラズ、其ノ數ノ定ナラス

キニ用フル者ヲ云フ、

名詞代名詞ノ複數ヲ顯ス為ニ用フル、友達、子供

彼等等ノ達、供等ノ類モ、亦不定數ト知ルベシ、

○序數トハ、物事ノ次第順序ヲ並べ立ツルキ、用

フル数ヲ云フ、即第一代、第二代、三番、四番、卷五、卷六等ノ如シ、是ハ基数ニ用フル数字ト、其ノ形少モ變ラ子共、第番、卷、杯ノ名詞ニ添フテ、其ノ用ヒ方ヲ異ニスルナリ、分ケテ云ヘバ、基数ハ物ノ勘定スル為ノ数、序数ハ順ヲ立ツル為ノ数ト心得ベシ、

尊称形容詞

○尊称形容詞ハ、總マテ言葉遣ヒヲ丁寧ニスル作用フル者ナリ、即御簾、御祝ヒ、御殿等ノ如シ、此ノ言葉ハ、唯名詞ヲ形容スルノミナラズ、外ノ言葉ヲ形容スルヲアリ、即御手前、御早ク、御讀ミナ

一般形容詞

サレ、御勉強ナル事等ノ如シ、世間ノ人、女子ヲ呼ブハ、其ノ名ノ上ニ、オヲ添ヘテ、オ松、オ竹ト云フモ、元ハ敬フ意味ヨリ出デタル故、是亦尊称形容詞トスルナリ、○一般形容詞ハ、数形容詞ト、尊称形容詞トノ二ヲ取り除ケタル、其ノ外ノ形容詞ヲ云フナリ、○形容詞ハ、種々ノ言葉ヨリナル、等ヲ覆ミテ之ヲ形ルヲアリ、即其ナル人ト云フハ、代名詞状ノ形容詞、口惜ノ事ト云フハ、動詞状ノ形容詞、何時ノ世ト云フハ、副詞状ノ形容詞ナリ、

外ノ形容詞

○形容詞ニモ、合成シタル言葉甚多シ。物憂時  
乗リ善キ馬ノ物ハ名詞、乗リハ動詞ナレ共、憂キ  
善キト合シテ、熟語トナリタル上ハ、一ノ形容詞  
ト見做スベキナリ、

日本小文典卷之上終

鏡後園生

吉井新田  
新町  
下田

新町  
柴田九  
長谷川